

討議資料

# 北本市議会議員　活動報告VOL.12
# 永井つかさ　27歳 無所属

## 八潮市で発生した道路陥没事故を受けて

先日、八潮市で道路陥没事故が発生しました。穴に転落したトラック運転手の安否は分かっておらず、現在も懸命な救助活動が続いています。
トラック運転手のご無事を祈るとともに、救助活動にあたっている方々に二次被害が発生しないことを祈るばかりでございます。　※2025/2/11時点の情報です

本件事故につきましては、老朽化した下水道管が腐食し、破損した部分に土砂が流入し、地中に空洞が発生し、その上を車両が通った重みにより陥没したという見立てとなっております。

このような事故は度々発生しますが、硬いアスファルトの下でこのようなことが起こっているということはなかなか想像しづらいと思います。

道路陥没が起こる仕組みについて、Youtubeに
わかりやすい動画があったので共有させていただきます。

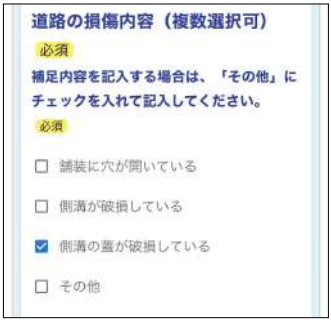
Youtube:How Do Sinkholes Form?

目に見えない地下のインフラの状況を常に把握し、適切な維持管理を行うことは簡単ではありません。老朽化対策として、定期的な点検・補修の強化はもちろん、近年導入が進んでいる地中レーダー調査やAI解析などの最新技術を活用し、より精度が高く、また効率的に予防保全を進めることが求められます。

今回のような道路陥没に限らず、
もし市内の道路の異変を発見されたら、
市の『道路等損傷通報システム』にて
通報していただけますと幸いです。

道路等損傷通報システム

https://logoform.jp/form/4txC/118908




↑実際のシステム画面

**北本市の現状**

北本市の公共下水道は整備が進んでいるものの、管渠(かんきょ)の老朽化が進み、維持管理や改築に多額の費用が必要とされています。また、人口減少に伴い使用料収入の減少が見込まれ、下水道事業の経営にも影響が及んでいます。雨水施設の整備率は低く、集中豪雨などの自然災害による浸水被害のリスクも依然として存在しています。経費回収率は100%を下回っています。つまり、使用料で必要な費用を賄えていない状況です。



**北本市の対策**

北本市は、下水道施設の計画的な維持管理・更新を進めるとともに、耐震化や雨水幹線の整備を推進し、浸水対策にも取り組んでいます。また、広域化・共同化による効率化を図り、経営の健全化を目指しています。さらに、下水道使用料の見直し・改定を検討し、経費回収率の向上も検討しています。老朽化した施設の改築・修繕も計画的に実施し、長期的な安定運営を目指しています。

**今後の課題**

今後の課題として、施設の老朽化対応にかかる財政負担の増加や、人口減少に伴う使用料収入の減少が挙げられます。また、集中豪雨などの気象変動に伴う浸水リスクへの対策強化が必要です。経費回収率を向上させるためには、使用料改定のほか、収入確保のための新たな施策が求められます。さらに下水道事業の持続的な運営のため、効率的な資金調達や技術職員の育成も重要な課題となります。




**計画をもとに維持管理を推進してまいります**

また今回八潮市で発生した道路につきましては県道となっています。
今後もしっかりと県・国と連携し、安心安全なまちづくりを推進してまいります。

## 永井つかさのプロフィール



北本みなみ幼稚園卒園、東小学校卒業、東中学校卒業、
さいたま市立大宮北高等学校卒業、日本大学法学部卒業、
東証一部上場（現プライム市場）の建設会社にて
3年間営業職として勤務。
R5.4月の市議会議員選挙にて1478名の方にご信託をいただき、
25歳にて初当選(全国最年少、4位、新人トップ)。宅地建物取引士。
些細なことでもお気軽にご連絡下さい！

発行者:永井司　北本市中丸2-234
090-3842-2413　tsukasa.nagai.kitamoto@gmail.com
2025年2月発行

お問い合わせフォームです↑